

水処理改良対策工事が施工されています。

また、余別トンネル工事については、今年9月上旬の着工に向け小樽開発建設部で工事着手前の関係地域工事説明会の開催を準備中です。

## 治山事業関係について

### —入舸高谷地先着手—

北海道が施工する道営治山事業は、入舸地区（高谷地先）復旧治山事業の設計調査が、5月末に完了し、法面山腹工300m<sup>3</sup>は6月末の工事発注を予定しています。

また、幌武意地区（小山地先）復旧治山事業については、6月末に工事の発注を予定しており、昨年に引き続き法面山腹工278m<sup>3</sup>を施工予定です。

## 小学校統合について

### 地域懇談会開催中

へき地・複式5校（幌武意、入舸、日司、野塚、余別各小学校）は、近年、児童数の減少に

## 教育行政報告(要約)

### 子どもの健全育成サポートシステム導入 —教育委員会と警察署が連携—

近年、児童生徒の非行の粗暴化や少年の凶悪化をはじめ、薬物乱用などをきっかけとした犯罪被害

の多様化が全国的に増加し、学校だけでは十分に対応しきれない様々な問題をかかえ、警察等との関係機関との連携を図り一層きめ細やかな取り組みを行うことが必要となっています。

このため、所轄の余市警察署と教育委員会との間で情報を共有し、非行や犯罪の未然防止や再発防止に役立てるため、個人情報を保護しながら非行犯罪情報を取り交わし「子どもの健全育成サポートシステム」を導入いたしました。

末に工事の発注を予定しており、昨年に引き続き法面山腹工278m<sup>3</sup>を施工予定です。

また、幌武意地区（小山地先）復旧治山事業については、6月末に工事の発注を予定しており、昨年に引き続き法面山腹工278m<sup>3</sup>を施工予定です。

このことから地域懇談会を開催し、保護者や地域の皆さんからの意見等を踏まえて、統合パートナーなど様々な観点から教育委員会で協議を重ね、教育委員会の共通認識として、「学校統合についての基本指針案」をまとめました。特に、保護者からは、大勢の同級生の中で切磋琢磨できるよう、普通規模校への通学の早期実現を求める意向が多数ありましたことを重く受け止めました。

## 審議された案件

### 報告第1号

#### 専決処分の承認を求める件

(平成20年度積丹町一般会計補

### 正予算・第7回)

(承認)

### 報告第2号

#### 専決処分の承認を求める件

(平成20年度積丹町一般会計補

### 正予算・第8回)

(承認)

### 報告第3号

#### 専決処分の承認を求める件

(平成20年度積丹町老人保健特

### 別会計補正予算・第2回)

(承認)

### 報告第4号

#### 専決処分の承認を求める件

(平成20年度積丹町簡易水道事

### (承認)

伴い、教職員の定数も年々減つてきている状況にあり、学校統合は、教育委員会として最も重要な検討課題であると認識しています。また、このことは保護者や地域にとって非常に大事な問題であり、今後の児童数や教職員数の推移を十分に見極め、児童のよりよい学習環境を保障するためにも、保護者や地域の皆さん共々、真剣に協議を重ねることが大切です。

地域懇談会において、保護者や地域が「教育委員会の基本指針案に沿って統合に取り組むべき」という意向が多数あることが確認されれば、教育委員会

平成21年度末の統合を進める方針で、第2回目の地域懇談会を尊重し、幌武意小学校、入舸小学校及び野塚小学校については

また、余別小学校及び日司小学校の統合年度について様々な観点から検討し、教育委員会としては、平成25年度末の統合を目指に、引き続き協議を続ける必要があります。また6月14日㈰司町、18日余別町の日程で第2回目の地域懇談会を開催します。

16日幌武意町で開催しました。地域懇談会において、保護者や地域が「教育委員会の基本指針案に沿って統合に取り組むべき」という意向が多数あることが確認されれば、教育委員会

しては、平成25年度末の統合を目指に、引き続き協議を続ける必要があります。また6月14日㈰司町、18日余別町の日程で第2回目の地域懇談会を開催します。

として正式に機関決定したうえ、可能な限り速やかに、積丹町立学校設置条例の一部改正条例案を議会に提出したいと考えています。

また、余別小学校及び日司小学校の統合年度について様々な観点から検討し、教育委員会としては、平成25年度末の統合を目指に、引き続き協議を続ける必要があります。

また、余別小学校及び日司小学校の統合年度について様々な観点から検討し、教育委員会としては、平成25年度末の統合を目指に、引き続き協議を続ける必要があります。

の考え方については、保護者が各学校における年次別の統合

(承認)

報告第5号

(承認)

専決処分の承認を求める件 (平成20年度積丹町国民健康保険事業特別会計補正予算・第7回)	一般会計からの繰り入を行ったために行うものです。 (承認)	定額給付金事業などに係る、20年度各会計予算の繰越明許費について、報告するものです。 (いずれも承認)
報告第1号・第2号・第4号 (注)報告第1号・第2号・第4号	報告第10号 専決処分の承認を求める件 (平成21年度積丹町国民健康保険事業特別会計補正予算・第1回)	報告第10号 専決処分の承認を求める件 (平成21年度積丹町簡易水道事業特別会計補正予算・第1回)
第5号については国の20年度地域活性化・生活対策交付金事業費についての繰越明許費の補正です。	事業勘定で、2,773万円を、直診勘定では、4億911万2千円をそれぞれ前年度繰上充用金として予算補正するものです。 (承認)	事業勘定で、2,773万円を、直診勘定では、4億911万2千円をそれぞれ前年度繰上充用金として予算補正するものです。 (原案可決)
専決処分の承認を求める件 (平成20年度積丹町介護保険事業特別会計補正予算・第3回)	報告第11号 積丹町過疎地域自立促進市町村計画の変更について	議案第3号 平成21年度積丹町産業交流雇用対策推進事業特別会計補正予算(第1回) 現行予算に305万円を追加し、1億9,930万円とするものです。 (原案可決)
繰越金(1,146万7千円)を一般会計に繰り出すものです。 (承認)	積丹町過疎地域自立促進市町村計画(平成17年度～21年度)について、救急車整備事業計画など、事業内容の変更に伴う計画の変更を行うものです。 (承認)	積丹町議会の議員定数を定める条例の一部を改正する条例について次回の一般選挙から議員の定数を10人から9人にするものです。 (原案可決)
報告第7号 平成20年度積丹町一般会計予算繰越明許費繰越計算書	報告第8号 平成20年度積丹町簡易水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書	議案第1号 平成21年度積丹町一般会計補正予算(第2回) 積丹町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について
報告第9号 平成20年度積丹町国民健康保険事業特別会計予算繰越明許費	報告第9号 平成20年度積丹町国民健康保険事業特別会計予算繰越明許費	発議第2号 積丹町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について
繰越計算書	主に、国の経済危機対策交付金関連事業予算等に係るもの	10月1日から議員の月額報酬を約5%引下げるものです。 (原案可決)

## 議会からのお知らせ

### ◆6月定例議会で次のように改正されました。◆

- 議会の議員の定数が10名から9名に削減。  
(平成21年9月の選挙から)
- 議員の月額報酬が削減。  
(平成21年10月1日から)

職名	報酬月額
議長	247,000円 ⇒ 234,000円
副議長	190,000円 ⇒ 180,000円
常任委員会委員長	171,000円 ⇒ 162,000円
議会運営委員会委員長	171,000円 ⇒ 162,000円
議員	161,000円 ⇒ 152,000円

### <積丹町議会で見直しを行ったもの>

今まで積丹町議会では、次のようなことを行っています。

- 平成17年9月の議会議員選挙より、従前の定数14人を10人に削減。
- 平成18年1月1日より議員の月額報酬削減。  
・期末手当支給率の引き下げ。  
(100分の440 ⇒ 100分の400)  
・費用弁償(日当)廃止。  
(1日当たり2,000円を廃止)  
・期末手当加算率の廃止。(100分の15を廃止)
- 平成20年4月1日より期末手当支給率の引き下げ。  
(100分の400 ⇒ 100分の300)
- その他、旅費等及び議長交際費の削減。
- 現在、道内及び道外視察については未実施。

以上、今まで経費削減に努めてまいりました。

【文責：積丹町議会】